

福岡県森林環境教育 「校庭の樹木となかよくなろう」

2023/9/21 福岡市立老司小学校 5年生 81名 9:30~11:20
リーダー千田、サブ樋口 スタッフ諸石 井上 金子 高田 武本 丸山 水田

晴れ男・晴れ女、そして子ども達の日頃の行いの良さの効果でしょうか、朝からの雨を見事に跳ね除け、しり上がりにお天気になり、青空の下での観察会となりました。

最初に体育館に全員集合、インストラクターの自己紹介に続きクイズ形式で樹木の世界へ。(一番長生きの生き物は? 背高のっぽ何m? 木が生きるのに必要なものは?)



一問一問真剣に考え挙手し歓声をあげる五年生

いよいよ各班にわかれ、フィールドビンゴのカードを手に、五感をフル回転し校庭の樹木観察のスタート。

トウカエデの種のクルクル落下、クロマツとアカマツのチクチクの違い、クスノキの香り、自分の手くらいある葉、複葉の葉の数、木の名前の由来、蜜腺やダニ部屋等の木の戦略など・・・キラキラとした瞳、瑞々しい感性と笑顔で観察する姿が印象的。



この種、クルクル回るよ～



この葉っぱ、チクチクする～

サクラ、ポプラ、ヤマモモ、アラカシ等、30種以上ある校庭の樹木の豊かさにも子どもたちは感心していました。



これなんていう名前の木？



あっという間の60分間の観察を終え、体育館に移動し、森の講話。



世界、日本の森林の状況を知り、森林のはたす役割、大切さ、そして森を守るために私たちができることは何かを考えました。

「木を伐り、木を使い、木を活かし森を育てる！！」

初めの一步は、木を知ること、仲良くなること！！いつも見る身近な木から・・・！！



子どもたちは興味深く聞き入り、まとめの時間も積極的に感想を述べてくれ、私たちの次の活動のエネルギーとなりました。

(記 水田)